

おおねぶ

平成30年 10月1日



校訓
教育目標
めざす児童像

心美しく たくましく
学びへの意欲をもち、やさしさとたくましさをあわせもったねぶっ子の育成
自ら考え ともに学ぶ子
心豊かで 思いやりのある子
健康で たくましい子

〇〇の秋

大根布小学校 校長 中西 外美

先日の運動会では、平日開催となったにも関わらず、多くの方々にご来校いただき、本当にありがとうございました。閉会式の挨拶でも述べましたが、子ども達は本当によくがんばりました。当日までに3日間のお休みがあり、練習したことを忘れてしまうのではないかと大人の私達は心配しましたが、その心配をよそに、子ども達はしっかりと集中し練習の全てを全力で出し切りました。2週間の練習で、一度は中だるみや伸び悩みも経験したことでしょう。壁にぶつかり乗り越えることができたという経験で、児童は粘り強さやたくましさを身に付けたと思います。運動会でしかできない貴重な経験を通して、また一回り大きく成長した子ども達は、これからも2学期の目標「自分をのばすこと」に向かって頑張ってくれることと思います。今後とも、子ども達への温かい励ましの言葉かけをお願いいたします。

さて、10月になりめっきり秋らしくなりました。秋は何をするにもよい季節です。本日の全校集会で、「〇〇の秋」と言えば・・・と子ども達に投げかけてみました。食欲の秋、スポーツの秋、実りの秋、読書の秋、その他にも芸術の秋や行楽の秋などいろいろありますが、今日はその中の「読書の秋」について話をしました。読書をする子ども達の成長にとって良いことがたくさんあります。読書の効能については、①記憶力を高める ②集中力がつく ③脳が発達して考えを生み出す力がつく ④心が落ち着き安定するなどが挙げられますが、これについて脳科学者の茂木健一郎さんは、とある対談で次のように述べています。（以下、内容を抜粋しています）

脳（地頭）の発達のカギになるのが、脳の前頭葉の前側にあるDLPFC（前頭前皮質背外側部）という部位。集中力を発揮するときに使われる回路、いわば脳の司令塔で、IQ（知能指数）とも関係が深いと言われています。読書に集中している状態が、DLPFCが活動している状態だと思ってください。この部位を鍛えるいい方法は、ちょっとややこしいことに集中すること。なので、少し難しい本をがまんして集中して読める子が伸びる子なんです。読書中に母親が話しかけても集中しすぎて返事をしないなど、そういう子は本当に将来の伸びを期待できます。読書で鍛えた脳の回路は、ほかのことにも応用がきくようになりますよ。

また、脳科学の観点から言うと、本を読んで何かに感動したり、興味を持ったりして、その後、読書体験を重ねてその感動や興味がさらに深まることを繰り返すと、読書に関係する回路が強化されます。その結果、論理的思考力やコミュニケーション能力が高い「地頭（じあたま）」の強い子になるんですよ。

地頭とは、「その人本来の頭のよさ。一般に知識の多寡でなく、論理的思考力やコミュニケーション能力など」のことです。勉強してたくさんの知識を身に付けることはもちろん大切ですが、読書をする事で脳そのものを発達させることになるそうです。読書は子どもの成長にとって、とても大切なものなのですね。

しかし、「うちの子は、本を読みなさいと言ってもなかなか読まない」という声も聞かれます。そんな時どうしたらいいかも、対談の中にありました。詳しくは裏面で紹介します。簡単に言えば、「まずは好きなジャンルから読み始めること」、そして「お家の方もいっしょに本を読むこと」のようです。私達大人も、「忙しくてなかなか本が読めない」と言ってもいいかもしれません。何をするにもよい季節の秋に、子ども達といっしょに本を読んで過ごすのは、決して悪くないことだと思います。



対談の続き・・・

読書嫌いの子どもには・・・

読書嫌いの子どもに読書の喜びに目覚めてもらうには、読書が楽しいことだとわからせないといけません。それには、子どもが何かに興味を持ったときにチャンス。恐竜が好きになったら恐竜の本、ロボットが好きになったらロボットの本というように、そのとき興味のあるジャンルの本を与えてあげてください。文字の少ない図鑑でもいいんです。最初は視覚から入るほうが、子どもの脳にとってはわかりやすいので。そのうちに文章のほうが面白いことに気付いて、そこで楽しさを味わって火がつけばあとは勝手に燃えてくれます。

※小学生向けのおすすめの本3冊：『だれも知らない小さな国』『大きい1年生と小さな2年生』『赤毛のアン』。

それから、見落としがちなんです、保護者が本を読まないためです。自分が読んでいないのに子どもに読めと言っても無理ですね。保護者がふだんから読んでいる姿を見せる、あるいは家に保護者の本棚があることが大事。家の本棚に本が少ししかなかったら、豊かな読書体験のきっかけがそれだけ減ってしまいます。

また、幼少期に読み聞かせするときも大事で、登場人物の気持ちに寄り添って保護者のかたが語りかけをするといいと言われています。たとえば桃太郎の話でも、「このとき桃太郎ってどういう気持ちだと思う？」などと問いかけてみてください。子どもの中で、他人の気持ちを推測する回路の働きが強くなるので、おすすめです。（茂木健一郎 談）

平成30年度秋の大運動会



毎月23日は、いしかわ学校読書の日。10月は23日火曜日です。読書の秋、スポーツの秋、食欲の秋... 実りのある10月に！キャラクター「ヨムモン」より



ご声援・ご協力ありがとうございました

雨天順延で、平日開催となりましたが、大勢の保護者・地域の方々に参観・応援に来ていただき、2学期最初の大きな行事、運動会を行うことができました。今年も「児童席テント」については大根布・大根台公民館から合計6基お借りしました。テントの設置・撤収作業や不審者対応の巡回と多くのPTA役員、保護者の方々にご協力いただき、ありがとうございました。

実りの秋、成長の秋に

- 1年 校外学習 のとじま水族館 10月24日(水)
- 2年 校外学習 いしかわ動物園 9月27日(木)
- 3年 社会科スーパーマーケット見学・聞き取り
- 4年 視覚障害者との交流会 9月26日(水)
- 5年 稲刈り体験学習 9月26日(水)
- 6年 サッカー交歓会 10月3日(水)

様々な人や、ものと出会い、貴重な体験をし、学びを深めています。

10月25日(木)は校内マラソン 予備日...26日(金)

会場は、蓮湖渚公園です。出走予定時間等については、各学年だよりをご覧ください。

当日の早朝、実施の有無についてメールでお伝えします。たくさんの応援をお願いします。

◎不審者対応の避難訓練実施

10月5日(金)2限、津幡警察署職員のご協力のもと不審者侵入の際の職員の対応と児童の避難の行動の確認を行います。

津幡警察署の方から「いかのおすし」のことばを基に不審者に出あってしまったときの心構えや交通安全についてのお話を聞く計画です。

10月の教育相談日

26日(金) 13:30～ 14:30～ 15:30～ ※12日(金)は 15:30～のみ

臨床心理士 橋本玲子 先生
15日(月)、29日(月) 13:30～ 14:30～ 15:30～
臨床心理士 西本 景 先生

◇申込み(連絡先)町教育センター ☎286-5481

校内 相談室 毎週火曜日 9時～12時
スクールカウンセラー 小西 智恵 先生